



©SUSUMU.MATSUSITA.ENTERPRISE

# 地域安全ニュース

## くらま

No. 432  
発行所  
今治地区防犯協会  
今治警察署  
☎ 34-0110  
FAX 31-7001

### ちかん注意

ちかんは、身近な場所  
で発生しています。  
混雑した電車やバス、  
人気のない夜道やエレ  
ベーター内などが狙わ  
れやすいので、防犯対  
策をとりましょう。

スキを  
見せないよう  
日頃から  
**防犯意識**を  
持って

#### 【夜道で】

人気のない通りや空き地、公園、駐車場などは  
特に危険です。やむを得ず通るときは細心の注意  
を払いましょう。



#### 『対策』

- ・夜間の一人歩きは危険  
学校や塾、仕事などで遅くなる  
ときは、なるべく迎えに来ても  
らったり、タクシーを利用す  
る。
- ・明るく人通りの多い道を歩く。
- ・時々後ろを振り返るなど周囲  
を警戒する。

- ・携帯電話やメールは周囲への注意がおろそか  
になるので控える。
- ・防犯ブザーはすぐに利用できる位置に所持する。

#### 【エレベーターで】

- ・エレベーターホールに不審な人がいないか確認  
する。
- ・見知らぬ男性と二人きりになるのを避ける。
- ・エレベーター内では、非常ベルや各階のボタン  
がすぐに押せる位置に立つ。

**被害に遭ったら泣き寝入りせず、  
今治警察署へ！**

### ～自然災害から身を守るための心構え～

#### ◆地震・津波に対する心構え◆

##### ●地震が発生したら、まず身を守りましょう

家の中では、家具から離れ、丈夫なテーブルや机の  
下に隠れましょう。

家の外では、ビルなどのガ  
ラスが落ちてくる可能性のあ  
る場所から離れましょう。



##### ●外への飛び出しはやめましょう

どんな大地震でも大きな揺れは数分程度です。

外へ飛び出すと割れたガラスや瓦が落ちてくる可  
能性があります。

##### ●揺れている最中にコンロ等の火元に近づくのは危険です

お湯や油をかぶるおそれがあります。揺れがおさま  
ってから火を消しましょう。

##### ●大きな地震があった場合、津波のおそれのある場所 から直ちに避難してください

遠くより、より高い場所に避難しましょう。

#### ◆自然災害に備える家庭での心構え◆

##### ●保存のできる食料、水、燃料を確保しておきましょう

非常備蓄品として、災害復旧までの数日間、自ら生  
活できるように準備しましょう。

##### ●非常持ち出し品をチェック

##### しておきましょう

持ち出し品の目安は、  
男性15キロ、女性10  
キロ程度までです。



##### ●我が家の安全度をチェックしてみましょう

- 寝室、幼児・高齢者・病人のいる部屋に倒れや  
すい家具を置いていないか。
- 火元の付近に燃えやすいものはないか。

**平素から、家族みんなで避難場所や経路、家族間の  
連絡方法等を確認し、防災意識を高めましょう。**



# 連れ去りから子どもたちを



## 守りましょう。

### 子どもを一人だけにしない

- 登下校や通園のとき、子どもが一人で歩くことになる区間は送り迎えをしましょう。
- 外遊びの相手・場所・帰宅時間を聞き、友だちと会うまでは送るなどして安全を確保しましょう。
- 予定の時間までに外遊びから帰らなかったら、できるだけ早く安否を確認しましょう。
- よその子どもが遊びに来たら、家まで送って行くか保護者に迎えに来てもらいましょう。
- まもるくんの家、交番、郵便局、コンビニなどいざという時、逃げ込む場所を教え、実際に行ってみましょう。
- 人の目が届かない危険な場所に近づかないよう教えておきましょう。



### ご近所の子どもを気にかけてください

- 道で出会ったら、気軽にあいさつを交わしましょう。
- 一人歩き・一人遊びの子どもには声をかけ、安全に帰宅できるよう配慮しましょう。
- 公園や広場など遊び場を通りかかったら、不審者がいないか目配りしましょう。



●駐車場、公衆トイレ、植え込みの陰、空き家など人の目が届きにくい場所にいたら、他の場所で遊ぶように言いましょう。

- 見慣れない人と連れ立っていたら、必ず声をかけましょう。

# ひったくり注意

昨今、ひったくりが数多く発生しています。ひったくり犯は、気付かれないように接近し、すばやく犯行に及びます。日頃から簡単に効果的な防犯対策をすることで、ひったくりの被害を防ぎましょう。



### <ここに注意!!>

- ・バッグは建物側に持つか、たすき掛けにする
- ・歩きながら携帯電話やメールを使用しない
- ・なるべく明るく人通りのある道を選ぶ
- ・後ろからオートバイや自転車が近づいてきたら、振り返るなどして注意を払う

**バッグの持ち方、道路の歩き方など、ちょっとした心がけでひったくりを防止しましょう。**



## こころの芽

被害少年サポーター  
日浅正恵

### 『いじめから自分を守る』

いじめにあったら、我慢しないで声を上げて自分を守ってほしいと思います。一番いいのは、先生や親に相談することです。いざ相談というときいじめを受けた記録をつけておくことは、とても役立ちます。いじめっ子に対して、いじめを事実として突き付けることができます。

しかし、どうしても相談できないこともあります。その場合、いじめっ子と距離をとることが大切です。休み時間になったらすぐに席を立ち先生の目の届くところで過ごしましょう。Aさんは、昼休みを職員室にいる先生の目の届く廊下などで過ごしたそうです。その姿に気づいた先生が対応してくれ解決できたのです。

自分は世界中でたった一人の自分です。全力で守りましょう。